

## 2021 年度実施概要

学校名

独立行政法人国立高等専門学校機構 広島商船高等専門学校

採択活動名

水難事故防止を目的とした教育支援コンテンツの開発

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1.	高専 5 年	卒業研究

取り組みの概要

## 【活動概要】

開発した海洋教育プログラムは、座学と実技で構成され水難事故防止に関する技能を学ぶことを目的としている。今年度は、学習プログラムを「いつでも・どこでも」学ぶことが可能である教育支援コンテンツ動画教材の制作を行い、水難事故防止や防災・減災教育に用いた。

## 【目的と方法】

大崎上島は本土と陸路での接続がない一次離島であり、島民の移動手段としてフェリーが身近な交通機関として利用されている。そこで島内でフェリーを利用する方を対象にアンケート調査を行ったところ、「乗船時に避難経路や救命胴衣の位置を意識しているか」という問いに対し「意識していない」という回答が半数以上を占める結果となった。このことから、船舶事故に遭遇した場合に対する安全意識が低いことが分かった。この問題点を解決すべく、船舶での緊急脱出について学ぶ映像コンテンツの制作を行った。制作した映像コンテンツをフェリー利用者に視聴してもらい、船舶における緊急脱出に関する安全意識と知識の向上を図ることを考案した。

## 【活動成果】

交通機関として船舶を利用する人にも活用できるよう、レイアウトやナレーション等が分かりやすい教材の制作を心掛けた。また動画教材の有効性を確認するために、本校商船学科学生と地元小中学生を対象に教材を視聴してもらい、アンケート調査を行った。結果大半の方が「よく理解できた」との回答を得ることが出来た。動画教材の視聴前アンケートによると、地元の小中学生の防災意識は低く、非常時に備えての対策を定期的に周知し、防災に関する意識を再認識させる必要があると考えられる。この動画教材は、船舶からの脱出に特化した教材ではあるが、島内にて生活する人々にとって、身近な交通機関である船舶に焦点を当てているため、離島地域に暮らす人々に対する教材として、大いに活用が期待できる。



図1 作成した動画教材の一部



図2 動画を視聴する様子